

愛媛県伊予警察署協議会会議録

(令和7年度第1回)

日時	令和7年6月25日（水曜日）午後2時35分から午後4時10分までの間				
出席者	1 警察署協議会委員 会長以下8人 2 警察署 署長以下10人				
議事概要	1 会長挨拶 住民に寄り添った犯罪抑止活動等を積極的に推進していただきたい。 2 署長挨拶 警察署協議会は、平成12年当時、連続的に発生した警察の非違事案を契機として新設された組織である。その任務は「管轄区域内における警察の事務の処理に関し、警察署長の諮問に応ずるとともに、警察署長に意見を述べる機関」とされている。警察がその責務を全うしていくために、忌憚のない御意見をいただきたい。 3 業務推進結果の報告・業務推進計画の説明 各課長が、令和7年1月から同年4月までの業務推進結果及び令和7年5月から同年8月までの業務推進計画について説明した。 4 諮問及び答申 <table border="1"> <thead> <tr> <th>諮問</th><th>答申</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>災害に備えた諸対策</td><td> ○ 自治体や教育機関等と連携した自助共助意識を高めるための取組を推進していただきたい。 ○ 災害発生時における住民の不安を軽減するための諸対策を推進していただきたい。 </td></tr> </tbody> </table> 5 意見、質問等 (質問) 警察官の採用募集活動についての取組はどうか。 (回答) 少子高齢化で退職者数は増え、就職適齢人口は減っていることもあり、採用情勢は非常に厳しい。昭和の頃は、10倍を超えていた採用倍率（受験倍率）が、現在は2～3倍であることもあり、採用試験の受験者を獲得することが難しい。 優秀な人材を確保すべく、警察では積極的に採用募集活動を行っている。 (質問) 松前町の大型商業施設での犯罪発生状況はどうか。また、施設の警備部門と警察との連携は行われているか。 (回答) 同施設での犯罪発生状況に特化した統計は算出していないが、肌感覚で多いと思う。 施設の保安・警備部門とは、不審者に関すること、犯罪に関することについて情報提供を受けており、治安維持や発生する被害の続発防止のため早期検挙に努めている。	諮問	答申	災害に備えた諸対策	○ 自治体や教育機関等と連携した自助共助意識を高めるための取組を推進していただきたい。 ○ 災害発生時における住民の不安を軽減するための諸対策を推進していただきたい。
諮問	答申				
災害に備えた諸対策	○ 自治体や教育機関等と連携した自助共助意識を高めるための取組を推進していただきたい。 ○ 災害発生時における住民の不安を軽減するための諸対策を推進していただきたい。				

(質問)

伊予警察署幹部の自己紹介で「以前から伊予警察署で働きたかった」などと話す方が多かったが、その理由は。

(回答)

愛媛県内には16の警察署があり、大・中・小の規模別に分類すると、伊予警察署は「中規模署」に当たる。

伊予市・松前町は、地域ぐるみで街をよくしていこうと考えている地域住民が多く、住民や自治体と良好な関係を構築していると肌で感じる。

(質問)

カーブミラーの視認を妨げていた樹木を伐採したとの交通課の説明があったが、樹木（土地）の所有者の許可は得ているのか。

(回答)

今回伐採した樹木は、松前町役場に所有者と協議していただき、道路にせり出したところを伐採したものである。

(質問)

伊予警察署の地域課員の中には音楽隊として勤務している警察官がおり、この警察官を中心に高齢者が参加する会合等で広報活動を実施していると聞いているが、今年の活動実績はどうか。

(回答)

伊予警察署管内では昨年中、高齢者を対象とした講話等の高齢者対策を約40件行っているが、うち約20件を音楽隊兼務の警察官が実施している。

なお、愛媛県警察音楽隊は、年間80回程度各所に派遣されているほか、春秋には県美術館前でミニ演奏会（プロムナードコンサート）を行っている。

(質問)

伊予警察署として特定小型原動機付自転車の対策はどうしているのか。

(回答)

特定小型原動機付自転車などいわゆる小型モビリティには様々な種類がある。違反を確認した際は、交通指導取締りなど所要の対応をとっている。

(質問)

中山町を通る国道56号には、道路に樹木がせり出している箇所があり、交通の妨げになっているが、こういった場合はどうすればよいか。

(回答)

道路管理者（国道を管理する国交省）と連携して伐採ができないか検討し、対応していきたい。

昨年も国道56号にせり出す樹木について、駐在所員が国交省に現状説明し、伐採した経緯があることから、駐在所に相談していただいても構わない。

(質問)

車両で幼児を保育施設へ送迎する保護者が、チャイルドシートに幼児を載せていないという声も聞く。チャイルドシート装着に向けた啓発活動はどのように行っているか。

(回答)

チャイルドシートに対象年齢の子供を乗せていないことを警察官が現認すれば、交通指導取締りを行っているほか、児童館でのイベント等においても、注意喚起や広報啓発活動を行っている。

個別に、チャイルドシート装着についての出前講座等の要望があれば、積極的に対応していきたい。

(質問)

防災士の資格を取得している署員はどれくらいいるのか。

(回答)

警察としても大規模災害に備えて基礎知識を習得しておくとの観点で防災士の資格取得は重要であると考えます。

防災士の有資格者数は把握していないが、所属単位で受験している場合もあり、県警全体の有資格者数は増えているところである。

一方で、警察官は現職の間はその資格の有無に関係なく、災害事象等に対応しなければならないと考える。

6 その他

警察署協議会後、自転車シミュレータにより自転車の安全な乗り方や危険な交通環境の体験を行った。

【視察状況(自転車シミュレータ体験)】



【協議会開催状況】

